

# 議会だより

平成30年6月1日  
第60号

## CONTENTS

未来の早島はどんな街に.....	2～3P
3月定例議会概要.....	4～5P
総務厚生常任委員会.....	6P
建設文教常任委員会.....	7P
議会報告会を開催.....	8P
子ども議会・議会活動報告.....	10P
一般質問.....	11～19P
新人職員紹介.....	20P

## 第5回 議会報告会





# 一般会計は 47億8100万円でスタート

早島家の家計簿に例える (1億円=10万円に換算)

収入 (歳入) 478万円

給料 (税込) 195万円	親からの仕送り他 (税外収入) 250万円	借金 (起債) 33万円
---------------------	-----------------------------	--------------------

支出 (歳出) 478万円

社会保障費 (民生費) 167万円	家の リフォーム他 (土木費) 62万円	子供の学費 (教育費) 58万円	ローン返済 借返済 (地方債) 37万円	その他 (消防災害) 154万円
-------------------------	-------------------------------	------------------------	-------------------------------	------------------------

財政硬直化依然続く!!

## 議会が注目する主な事業

水路の改修	災害への備え	教育の充実	まちづくり
<p><b>営農環境の維持</b></p> <p>農業基盤の整備や浸水被害対策として、平成27年度の雨水解析を基に、新たな樋門を設置して、町中心部の浸水被害を軽減するため</p> <p>1億3,600万円</p>	<p><b>防災体制整備</b></p> <p>大災害時等に備え、安定したライフラインの充実や、Jアラートを小・中・中央公民館・ゆるびの舎の屋内放送に接続する。</p> <p>2,110万円</p>	<p><b>ICT教育推進</b></p> <p>学校現場にタブレット端末等を整備してICT活用を推進し、児童・生徒の学力向上や教員の事務の負担の軽減等を図る。</p> <p>1,870万円</p>	<p><b>都市基盤の整備</b></p> <p>将来の超高齢社会に備えての都市構造の再編実現の方策策定</p> <p>297万円</p> <p><b>まちづくり構想(グランドデザイン)</b></p> <p>2060年のまちの姿を描き次期総合計画の基礎とするための情報収集・資料作成の支援業務</p> <p>324万円</p>

# 平成30年度主な事業

## 小学校・幼稚園教具等充実事業

児童、園児が興味をもって学びに取り組める環境整備を図ることを目的に「ボルダリング」等を導入する

965万円



## 防犯灯等LED化事業

温室ガス削減効果大のLED防犯灯への切り替えをリース事業で実施

289万円

## カーボン・マネジメント強化事業

公共施設の温室効果ガス削減対策のカーボン・マネジメント体制の整備と計画の構築を図るもの

999万円

## ゆるびの舎開館20周年記念事業

ゆるびの舎20周年を記念して「落語会」を開催し、お祝いとともに心の健康づくりを図る

282万円

## いかしの舎西側公園整備事業

いかしの舎西側公園北側の県道に横断歩道を設置するため、歩行者が南へ通過できるよう塀を撤去

200万円



## 町営住宅整備事業

5工区の解体工事、公園整備工事及び、道路整備工事

8,310万円



## 町民総合会館駐車場用地取得事業

第2駐車場を拡張するための土地購入

1060万円



## 景観計画改定事業

景観計画策定から10年が経過し、まちづくりの方向性の変化から、再度計画の見直し良好なまちづくりを行う

289万円

予算審査特別委員会  
主な質疑

- Q** まちづくり構想(グランドデザイン)策定事業に324万円計上されているが、基本構想があるなかで、改めて検討する必要があるのか。
- A** 国の地方創生で求められており、策定することになった。
- Q** カーボン・マネジメント強化事業の内容は。
- A** 去年調査委託した結果に基づき、庁舎、空調設備の更新。
- Q** 地域公共交通利用促進事業の計画策定の内容は。
- A** 駅利用促進に向けて、現在2,362人/日利用。3,000人に向けて平成30年度内に検討に着手。
- Q** 農業用施設整備事業に1億3,600万円計上されているが。
- A** 平成27年度に行った雨水解析を基に新たに樋門を設置することで、町中部の浸水被害を軽減する。又、老朽ため池(尾越池)の堤防補強を行う。



- Q** 国民健康保険ヘルスアップ事業の取り組み状況は。
- A** 平成29年度未受診者(1,518人)に対し、電話、はがき対応実施し、100名が受診した。

3月定例会 採決状況

○賛成 ×反対 「欠」欠席 議長(福田 健)は採決に加わらない。

議案	小池 宏治	平岡 守	佐藤 政文	佐藤 智広	古田 敬司	松森 京子	真鍋 和崇	佐藤 眞治	浅沼 一徳	議決結果 (賛成:反対)
議案第6号 早島町国民健康保険税条例の一部を改正する 条例について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決(8:1)
議案第7号 早島町特定教育・保育施設及び特定地域型保 育事業等の利用者負担額に関する条例の一部 を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決(8:1)
議案第24号 平成30年度早島町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決(8:1)

他、議案は全会一致で可決。



# 4歳児の保育料無償化案を 全員一致で可決

【総務厚生常任委員会】

## 議案審議の主なもの

◆早島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について。

Q 加入者は何人いるのか。

A 約2,600人。

Q 早島町は国保税が高いが、解決策はないのか。

A 給付費が減少しない限り難しい。

◆早島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例について

Q 今後、待機児童の解消はどうするのか。

A 現在10人の新しい保育士の確保はできているが待機児童の解消には至っていない。今後検討会議で議論し保育園とともに解消に努



めていく。

Q 早島町は人口増を見込んでおり、それに伴い待機児童がふえる可能性がある。今後シミュレーションが必要では。

A 今後の計画等担当課長に指示している。

Q 早急に次の手を考える必要があるのでは。

A 子ども子育てのアンケートを取りながら考えていく。



◆平成29年度早島町一般会計補正予算(第8号)

Q 4歳児無償化、待機児童関係について議会に説明すべき。

A 説明をさせていただく。

Q 早島町のクオリティーの高さ、子育てのしやすい町をアピールすべきでは。

A 住民の期待にこたえられる町を目指す。

## 歳入

Q ふるさと納税の歳入減は。

A 返戻金の見込みがなくなっただけで商品券の扱いをやめたため。

Q 今後、ふるさと納税返礼品の考えは。

A 30年度に検討委員会で議論する。

## 歳出

Q 総務管理費、作成委託料の減額は。

A 交通マップを作製予定だったが岡山県で実施する事業が重なったため。

Q 商工費、商工団体等の減額は。

A 予算50万円を取っていたが事業が少なかったため。

Q 商工団体等の事業費補助金2分の1は使いづらい。

A 事業費の半分ベースでお願いしたい。

◆総務厚生常任委員会に付託されたその他の12議案は原案のとおり可決すべきものと決した。

# 早島町ふれあいの森公園の キャンプ施設の利用料が無料に

【建設文教常任委員会】

## 議案審議の主なもの

◆早島町ふれあいの森公園管理条例の一部を改正する条例について

- Q 利用届け出はこれからも必要なのか。
- A 届け出をしてもらうことになる。
- Q トラブル等の発生を懸念する。
- A 今年度試行を行ってきたが特にトラブルはなかった。
- Q 管理体制は。
- A 委託する補助金交付団体に毎日管理を依頼しており、繁忙期の巡回も依頼をお願いする。



◆早島町一般会計補正予算(第8号)について

- Q 小学校費の工事請負費は何か。
- A 小学校女子トイレ洋式化にかかる工事費用。
- Q 小学校費、中学校費増額の内容は。
- A 就学援助世帯に対する新入学学用品費
- ◆水道事業会計補正予算(第4号)について
- Q 増額補正の内容は。
- A 無津交差点地下、水道管修繕工事の消費税確保による補正。

◆その他 早島町道路線の認定について、早島町道路線の変更について、公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について原案のとおり可決すべきものと決した。



# 平成29年度 議会報告会を開催

開催日時 平成30年3月25日(日)13時30分～15時30分 開催場所 ゆるびの舎2階研修室

## あなたが描く10年先の早島と題し ワークショップを実施

参加いただきました皆様ありがとうございました。

早島町議会は去年に引き続き第2回目のワークショップを開催いたしました。

今回のワークショップでは「あなたが描く10年先の早島」をテーマに20名の方が参加し

**Aグループ**：子ども子育て（子育てや教育、保育に関すること）

**Bグループ**：高齢者福祉（医療や介護、福祉に関すること）

**Cグループ**：自治会活動とボランティア（地域での活動やボランティアに関すること）

**Dグループ**：産業・地域振興（商工業、地域産業の振興や観光に関すること）

の4グループに分かれて問題・課題の発掘から改善策について各グループ内で熱心に討議をしていただきました。

### 〔Aグループ〕

#### ◎テーマ 子ども子育て

##### ●問題・課題

- ・ 自然体験の減少
- ・ アスレチックが有る公園がほしい
- ・ 雨の日でも遊べる室内の遊び場がほしい

##### ●改善策(案)

- ・ 複合施設を作る
- ・ ゆるびの舎の学習フロアの拡張
- ・ 雨の日も含め遊び方を学ぶ
- ・ どの世代も集まれる公園づくり
- ・ 施設づくり、子育て世代を巻き込んだ町づくりに取り組む。

### 〔Bグループ〕

#### ◎テーマ 高齢者福祉

##### ●問題・課題

- ・ 早島⇄中庄移動困難
- ・ バス停が遠く買い物、私用に困難
- ・ 免許証の返納時帰宅困難
- ・ 近くにお店がない
- ・ 高齢者の引きこもりが多い
- ・ 将来の年金が心配

##### ●改善策(案)

- ・ コミュニティバスの停留所を増やす。(2〜3倍に増やす)
- ・ 10年後スマホによる運行管理(Wi-Fiをみんなに配布して現在

地を知らせて送迎してもらう)

・ 免許証返納時のタクシードライバにト発券

・ 宅配の充実

・ コンビニを多く作る(公設で)

・ 定期的に家庭訪問する

・ 近場で、いつでもお茶が飲める場所を作る

・ 各地区でグループホームを作る

・ 高齢化社会になるので、頼るばかりでなく自助努力をする

・ 健康に気を付けて、外出、運動をし、自分たちで健康寿命を延ばす

・ 町の、ころばん塾を活用する

・ 若者のために元気な早島にする

・ 今の生活に感謝して生きていく

### 〔Cグループ〕

#### ◎テーマ 自治会活動とボランティア活動

##### ●問題・課題

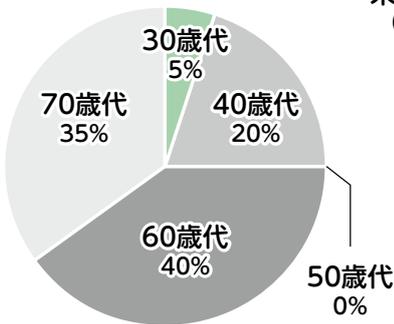
- ・ 自治会活動
- ・ 高齢化の問題
- ・ 後継者不足の問題
- ・ 活動への理解・協力不足の問題

##### ●改善策(案)

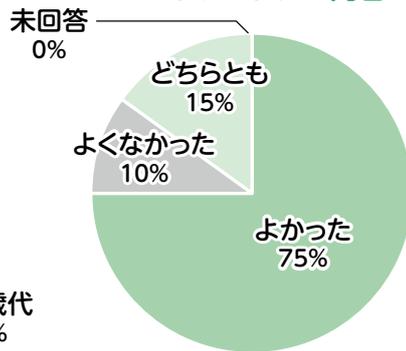
- ・ ボランティア活動
- ・ 活動の理解とPR不足
- ・ 自治会活動
- ・ 組織編成の見直し
- ・ 自治会リーダーの育成

# 参加者アンケート結果

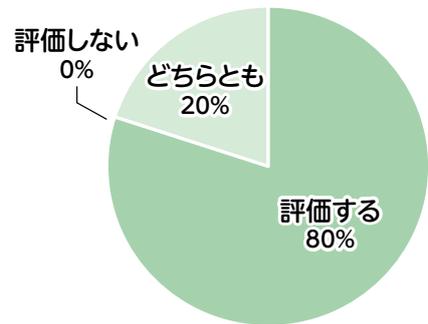
年齢構成



ワークショップの内容



報告会・ワークショップの評価



## 【ご意見・ご要望のアンケート結果の抜粋】

- ・今回のワークショップをいかしてほしい。
- ・このような機会をもっと多くして住民のニーズを知ってほしい。また婦人会、老人会、子供会も含めたワークショップも良い。
- ・日々の活動ありがとうございます。地道な活動が将来の早島を支えると思います。
- ・開催日は日曜で構わないが時期を考慮してほしい。
- ・開催時間について、夕方を希望する。
- ・待機児童の件、無償化より待機ゼロを優先すべき。
- ・平成30年4月の入園希望者が410名であった。平成27年3月の予測では407名だったはずだが今までどんな対策をしたのか。
- ・もう少し多人数の参加を。
- ・町民の生の声をどんどん取り入れてほしい。
- ・社会福祉協議会と包括支援センターは合体して1つの組織でやるべきだ。
- ・報告会に集まる人数が少なすぎる。
- ・この会合のパンフレットに主催：早島町議会の旨を明記されてはいかがか。（事務局云々の表現ではなく）
- ・もっと若い人の参加を呼び掛けて集まってほしい。
- ・今回参加してみて、議員さんが身近に感じた。
- ・議会報告会は自治会ごとに開催し、住民の意見を聞くべきである。議会がこのアンケートにどう対応するか不明である。
- ・今回のようなワークショップは経験のある人でないと進め方が難しい。議員さん10名で実施したことがありますか。

## 【議会報告会 ワークショップについて】

今回2回目のワークショップ実施では議会から4つのテーマを提案し、それぞれのテーブルで活発な討議をしていただきました。出されたご意見、改善策等は議員全員で共有し議会活動に活かしてまいります。

- ・他の自治体の活動を知る。ノウハウの共有化
- ・ボランティア活動
- ・窓口を一本化しボランティア活動の説明と要請

### 「Dグループ」

#### ◎テーマ 産業・地域振興

#### ●問題・課題

- ・早島らしさが感じられない町
- ・早島として他の地に誇れるものが明確でない
- ・町おこし事業がはつきりしない
- ・交通関係に問題あり
- ・特に駅の利便性が悪い
- ・早島駅南の土地開発
- ・コンビニ等の施設が町南部に偏っている
- ・早島の住環境を生かした地域振興

#### ●改善策(案)

- ・町の強みと弱みをあぶりだす
- ・小中一貫教育の教育環境の良さのPR
- ・早島の特徴ある食べ物を考える
- ・駅に無料の駐車場を作る
- ・バスの運行本数を増やす
- ・2号線北にスーパーやコンビニを誘致する
- ・電動自転車のリースをする
- ・北部に役場の分室を作る

# 第3回子ども議会を開催しました

平成30年2月3日(土)第3回目となる早島町子ども議会が開催されました。園児、児童、生徒が模擬議会を体験することで、町政を身近に感じ、地方自治の姿の一端を学び、早島町民としての自覚と郷土を愛する心を育てます。早島幼稚園児4名、小中学生の19名が議場に入り、第1部では議員として登壇し、当局に対し質問・提案を行い、第2部では町執行部の立場で答弁する等、模擬議会を体験しました。本議会だよりでは、第2部について概要を報告致します。

**問 浅沼一徳議員** 食生活、食習慣に対しどのように考え、取り組んでいるか。

**答** 健康面、心身の発育、生活習慣などに大きく関係する大切なことです。意識をしっかりと持つことを心がけ、健康委員を中心に、呼びかけを行う等の啓発活動を頑張っていきたい。

自分自身が意識して、おいしく食べられることに感謝をして残さず食べようとするのが一番大切だと思ふ。

**問 平岡守議員** 今後早島町内にあったらよいと思う店、またにぎわいをもたらす店はどんな店だと思ふか。

**答** 100円ショップ、ショッピングモールなどがあれば良い。また、国道2号線沿いに休憩できるような道の駅などの施設があれば早島の特産品



**問 真鍋和崇議員** 部活動以外の放課後の生徒たちの居場所はありませんか。部活動について将来どう変わればよい、また変えていきたいと考えていますか。早島町に欲しい施設はどんな施設ですか。

**答** 部活動に参加しない人は、帰宅又は、ゆるびの舎の図書館を利用して。学校は、門限があり十分な練習はできない。自主練の場として町の体育館があればうれしい。

も販売できる。

**問 松森京子議員** 家族間で防災グッズ・備蓄の必要性等、防災について話し合いをされているのか。地域の防災訓練に参加したことはありますか。

**答** 自衛隊の方から、防災講話を受けた。家庭内での話し合いは不充分。地域の防災訓練参加者が少ないと感じた。

## 議会活動報告

### 平成30年1月～3月 議会活動一覧

**January 1 [1月]**  
成人式  
倉敷市消防出初式  
早島町消防団出初式

**February 2 [2月]**  
子ども議会  
備南競艇事業組合議会  
農業委員会  
議長会定期総会  
議会運営委員会  
全員協議会  
全員協議会

**March 3 [3月]**  
3月定例会【19日】  
農業委員会  
早島中学校卒業式  
早島幼稚園卒業式  
かんだ保育園卒業式  
早島小学校卒業式  
議員勉強会(包括ケアシステムについて)  
早島保育園卒業式  
わかみや保育園卒業式  
議会報告会  
備南水道企業団議会  
備南競艇事業組合議会

### 全国町村議会議長会表彰

平成30年2月21日に開催された岡山県町村議会議長会総会において、福田議長に全国町村議会議長会表彰が伝達されました。多年にわたり、地域の振興発展に寄与貢献された功績が認められたものです。



### 地方自治法施行70周年記念 地方自治功労者表彰

平成29年11月17日、小池議員に地方自治法施行70周年記念地方自治功労者表彰が授与されました。多年にわたり、町議会議員として地方自治の育成発展に寄与貢献された功績が認められたものです。





浅沼一徳 議員

スポーツ少年団に対する支援について

問

スポーツ少年団補助金の見直しを求める

答

広い意味での検討をさせていただ

問 町内には7つのスポーツ少年団が存在しており、青少年の健全育成の観点からもその指導に当たっていただいている関係者の方々には敬意を表する次第である。少年団の中には、中国大会や全国大会に出場するなど優秀な成績をおさめ、中学校や高校、大学で活躍するような選手育成の一役も担っていただいております。熱心な指導には感謝の思いである。

一方で、活発に活動している少年団は活動資金が不足して遠征や試合参加費などを保護者が実費負担しており、町の補助金、コカ・コーラの補助金を含めても活動費が賅いきれないのが現状だ。少年団に対する支援の見直しを求め

る。

答 教育長 町からの補助金とコカ・コーラ様の補助金を合わせ1団あたり約30万円となっている。

熱心な取り組みの中、活動費が賅いきれてないという現状があるということだが、まずはスポーツ少年団事務局で各少年団の実態を把握させていただくとともに、少年団の皆様には、今一度活動費の遣い方等について、後援会の皆様としっかり話し合って、限りある活動費が最大限に活用されるように考えていただければと思う。

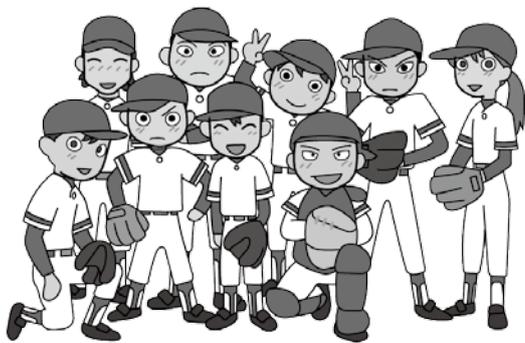
問 他市町村にはない取り組みで大変感謝している。少年団後援会は年に1度決算を行い、1年の予算案を立て、保護者総会が行われている。町の少年団であることに添って町行事に積極的に参加をしていただいている。

また倉敷市、岡山市、岡山県へ出て戦い、早島の素晴らしいスポーツマンシップを発揮することにより他チームからの試合や遠征の誘いをいただいております。少年団の活躍の場が広がっている。またコーチにおいては、早島の子どもの

のために無償でご尽力いただき子どもたちの指導を担っている。

少年団は連盟に登録してあり試合に付随する懇親会費やコーチ登録料などが発生し、団費では賅いきれず指導者に実費負担をお願いすることがあるのが現状だ。指導者への補助を検討していただきたい。

答 町長 全体の補助金の中に含まれているとご理解いただきたいが行財政改革が叫ばれて折、気持ちには理解する。少年団の皆様の活動は本来にいろいろしていただいている。またご苦労されているのもよく見聞きしている。今すぐどうこうという答えはできかねるが、広い意味での検討をする。



教員不祥事対策について

問 本町の教員不祥事発生件数及び被害者件数は。

答 教育長 未然防止に向け教職員一人一人の服務規律を徹底し、教育に携わる者としての自覚が高揚するよう継続的な研修に取り組んでいる。本町の教員不祥事発生件数及び被害者件数についてはない。

被害防止のため教員への指導及び対策について

問 教員の不祥事が後を絶えず、不祥事防止は喫緊の課題であると認識するが被害防止のため教員への指導及び対策は。

答 教育長 13のプログラムを活用した不祥事防止の校内研修を計画的に行っている。また、校長会や教頭会で効果的な研修の在り方や学校の状況等について随時共通理解を図っている。不祥事は起こさないという強い決意を持ち、心に響く校内研修の充実を図るとともに、仕事のやりがいを感じられる職場づくり、教職員への目配りや声かけなども含め学校と一体となって不祥事防止の取り組みを推進していく。



佐藤 眞治 議員

景観形成事業に関して

小学校前の塀の改修を問う

**問** 小学校前の塀の改修について、町長は「良好な景観の維持を考え30年度中には修繕を行う」と言ったが、30年度の当初予算に組みこまれていない。早くする必要があると思う。優先事業にはならないのか。

**答 町長** 主要事業説明書には掲載してないが、30年度で工事を予定しており、工事請負費ではなく修繕という事で行う。

中央公民館の今後を問う

**問** 29年9月議会会で教育長は、「中央公民館のあり方について有識者を含めた会を設け、30年度末には中央公民館の施設や運営、将来の方向性等について提言をいただく予定」といわれたが状況は。

**答 教育長** 早島町公民館モデル検討懇談会を組織し、3回の

**問** 中央公民館の建て直しを含め、今後の公民館の形は、

**答** 公民館には3つの役割がある。集い、学び、つながる施設を目指す

懇談会を終えたところ。県内の公民館5館の資料をもとに最近の公民館の全体像を把握した。玉島公民館と市民交流センターなど視察し、役割や機能、主催講座や管理運営等研修した。第3回懇談会では総社市東公民館と東小学校を視察、幼稚園、小学校、学童保育との連携や地域社会との連携、主催講座や自主講座のあり方等について意見交換をした。

公民館には、自主的な学習活動を支援する集う役割、生涯学習の中核施設としての学ぶ役割、世代を超えた地域づくりの拠点としての結ぶ役割の3つの役割がある。

子どもから勤労世代、高齢者まで地域の方が気軽に集い、学び、つながることのできる施設を目指して検討をしていく。

**要望** 庁舎を含め早島町の中心で核となるべき建物であるので期待する。

早島町地域防災計画に関して

2ポンプ場の設備を問う

**問** 舟本・弁財天両排水機場は、バックアップのため別ルートからの送電が必要である。早急に検討する、と述べているが、改修はされたのか。

**答 副町長** 2系統からの送電では、電気事業者への負担金がふえる。岡山県に委託し機能診断や保全計画の策定をした。設備の健全性確保には相当の費用と年月が必要。

排水機場は防災の生命線ともいえる設備であり、早急な対処が求められる。まず老朽化対策等を優先的に実施し、別ルートによるバックアップは考えていない。

災害時の備蓄の増量を問う

**問** 早島町の必要備蓄量5800食について、新しい物への交換や増量は、計画的に進んでいるのか

**答 副町長** 28年では2200食を備蓄。現在は3467食となっており、飲料水は500mlで2044本。30年度にはアルファ米800食、パン240食、飲料水840本を購入予定。備蓄目標の達成に向け計画的に購入している。

久々原駅のトイレはまだ設置されていない

**問** 久々原駅の利便性の向上、周辺住民の生活環境の保全を目的として、29年度の整備関係費として、予算が組まれていたが、いまだ設置されていないが。

**答 副町長** 29年4月にJR西日本岡山支社と最初の協議をした。その後2回協議し、JRと土地使用貸借契約を11月2日に締結。業者との工事契約が30年1月31日、JRとの工事着手前協議が2月28日に行われた。設置場所が久々原駅構内となったため、土地の借地や施工する上での安全管理など、相当の協議を行ったため時間を要した。年度内には設置ができ4月早々には供用開始の予定。



4月から供用開始予定の久々原駅のトイレ



佐藤政文 議員

**問**

JR早島駅から役場周辺の  
住地区の整備を問う

**答**

都市構造再編計画の完成に向けて  
努力中

**問** JR早島駅から役場周辺の新定住地区の整備は、生活の場としての魅力を維持するためにも定住促進地区を整備することは、とても良い施策だ。魅力ある住みよいまちにするには、生活利便性を向上するとの目的のもと都市機能を適正に配置することが重要であると町長も発言している。しかし、現実には目を向けると早島駅周辺に売店や食堂がないなどの実情で、どうやって子育て世代や高齢者が歩いて暮らせる豊かな生活空間の形成を目指すのか。早島駅周辺には駐車場も少なく、駅前の駐車場がいっぱいの場合、役場に車を止めて歩いているのが現状だ。このような現状で町の活性化はどのようにできるのか。

平成28年3月の早島町定住促進マスタープランでは、まちの将来像を「やさしさ」と希望にみちたまち「早島」と定め、5つの基本目標の達成に向けた取り組みをはじめますとある。「早島町人口ビ

ジョン」における将来人口の推計では、戦略的な定住促進が行われなかった場合、平成72(2060)年には10,879人にまで減少する見通しだ。マスタープランと町の現実とを対比して考えてみると、マスタープランの進捗状況はどうなのか。あまり進んでいないのが現状なのではないか。活力のある町づくりのためには、人口増のための施策はかかせない。狭い早島町の土地を有効活用して、人口増を図るためにも建物の高さ制限の緩和は必要不可欠の施策である。

**答 町長** コミュニティの維持や生活環境の充実を図り、コンパクトで持続可能な町づくりに転換する必要がある。立地適正化計画の中で、都市再生協議会で早島町都市構造再生計画を策定中。早島駅を中心拠点にだれもが充実し豊かな暮らしを実感できる町を目標に、居住を誘導する区域や都市機能を誘導する区域を定める。早島

駅前の規制緩和に向けた景観計画の見直しを行う必要があるか検討する。計画自体は平成30年度の半ばにつくりたい。



JR 早島駅前

**主要水路改修と大雨対策について**

**問** 今現在の現状は、主要水路の整備を農業基盤整備と浸水対策の両面から実施することとし、岡山県にも、汐入川改修を要望していると聞いているが、進捗状況はどうなっているのか。

この施策は何よりも生活に直結する問題として早急なる実現を求めらるものだ。大雨による町内に流入する雨水は汐入川に流す以外排水経路のない早島町では、大雨に

よる浸水被害がたびたび発生している現状がある。今まで浸水していない地区でも浸水したという現実もある。田んぼの宅地化による内水氾濫や町内に大きなため池がないのも原因のひとつである。大雨の時に、水を一時的に蓄える大きなため池があればいいのだが、ため池を作る資金も土地も残念ながらない。このような現状をふまえ、自然災害対策の早急なる実施は、町の緊急課題であると考える。

**答 町長** 町としては、汐入川の改修が災害に強いまちづくりには必要不可欠な施策だ。平成30年度で弁才天の大川に流出系統を分離する目的で樋門の設置を行う。



新しい樋門設置予定地



平岡 守議員

**問** 中学校修学旅行の問題点を問う

**答** 改善点があれば旅行会社を介し、民泊企画会社に伝え改善する

**問** 中学校の修学旅行は平成22年度から民泊を取り入れているが、理由、メリット、民泊先での作業はどのようなことをしているのか。

**答 教育長** 民泊では農林漁業者の家庭で地域の風習や芸能を体験する。メリットは、民泊先で作業を手伝い、地域の良さや家庭の温かさを体感し、第二のふるさとを感じられることである。

**問** デメリットについては、また危機管理はどのようなようになっているのか。そして事故等が発生した時の監督責任は誰が負うのか。

**答 教育長** 緊急時は学校が旅行会社と民泊企画会社と連携を取り対応。監督責任は全てにあると思う。デメリットはあまり感じていない。

**問** 先生はホテル泊、生徒は民泊と離れており引率の解放感により教師の飲酒が万が一にあると、危機管理に徹していないと思うが。また民泊先での危険性、例えば隠しカメラの設置等、女子生徒の保

護者は危惧しているか聞いています。認識をされているのか。

**答 教育長** 引率する教員は、一切飲酒はできない。また生徒を受け入れる際のマニュアルもあり、ハラスメント、個人情報管理への記載もあり、隠しカメラの被害もないと聞いている。もし改善点があれば旅行会社を介し、民泊企画会社に伝え改善していく。

**問** 例えば食事は家庭料理と思うが、家庭により多種多様。その内容が平等性に欠けるのではないのか、また食中毒発生の可能性も懸念されるのではないか。

また費用は7万円。民泊利用なのに高い。民泊先では条件が異なること、経験をされた卒業生、保護者間では、同じ費用なのに平等性に欠けていると言われているが。

**答 教育長** 民泊先によって体験内容や食事が違うのは当然、このようなことを含め、さまざまな視点から学び貴重な体験となっている。



早島中学校

**イベント時、町からの負担軽減、協力について**

**問** イベント時の後援依頼は町と教育委員会では、後援名義使用

申請書を提出することとしているが、内容があまりにも多く複雑である、これらイベントは町民主体で町自体も限りなく内容については理解をされているものと思う。申請内容が多く複雑なことから簡素化をお願いしたい。

**答 町長** 早島町共催及び後援名義の使用承認に係る要綱に基づき事務処理をしている。それぞれの団体のある程度の活動内容がわかるものでないと判断ができない中で規則を決め基準の中でやっている。

**問** これらイベントは本来早島町が実施すべきものを町民有志により実施している。

これら運営を実施している町民の方々の負担軽減は、先ほどの後援申請書に限らず必要と感じており、さくら祭りについては一部、まちづくり企画課の職員に協力をいただいているが、他のイベントには協力が無い。是非もう少し協力の範囲の拡大をお願いしたい。

現在イベントを実施しているメンバーは高齢化しており、このままでは5年、10年先の実施ができないと危惧しているので負担軽減、支援をお願いしたい。

**答 町長** 事業目的に合った、総合的な支援ということで担当課に話をしていただきたい。



さくらまつり・イベント会場



真鍋 和 崇 議員

**問** 保育料無償化で待機児問題はますます深刻になる

**答** (待機児問題は) イタチごっこ。人が集まるところの宿命だ

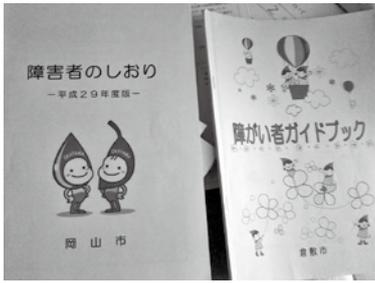
**住民に寄り添った障害福祉サービスを**

**問** 職員が十分な知識がないまま担当しているケースがある。研修等知識の習得機会の確保を。

また、障害の状況によって適切なサービスが受けられるよう(ガイドブック)の作成を求める。

**答 町長** 研修会への参加とともに、いろいろな所へ行き勉強させたい。

ガイドブックは近隣自治体を参考に、時間はかかるが検討する。  
**要望** そのためにも適切な人員配置を求める。



障がい者ガイドブック

**保育園の待機児解消を子育て施策の最重要課題に**

**問** 新年度も保留児15人(待機児8人を含む)が入ることができなかった。(詳細・別表)

町・園の努力には感謝するが、今後どのように解消させていくのか。

**答 町長** 検討会議で意見をもらいながら検討する。

**問** 緊急事態だという認識を持っていたらきたい。

	保育園児	保留児(待機児)
29年4月	382人	18人(9人)
30年4月	410人	15人(8人)

**保育料無償化は今すべき政策か**

**問** 町長はこれまで無償化を「待機児問題が解決すれば、財政状況を見て段階的に取りくむ」と答弁している。整合性がとれない。

**答 町長** 待機児解消と保育料無償化は車の両輪。一刻の猶予もない。

**問** 本会議で町長は「少子化の中、早島に若い人に来てもらいたい」と答弁した。お店で大売り出しセールの広告を出し、お客さん呼び込んだ。しかし商品は売り切れ。そんな町でよいのか。

**答 町長** (待機児解消を) やらないとは言っていない。

**問** (無償化を) 待機児問題が未解決のまま進めると待機児がもっとふえる。問題だ。

そして待機児解消のプロセスも財政根拠も議会には一切説明がない。町長は委員会で「個々の議員に説明した」と答弁した。なぜ議会全体に図らないのか。

**答 町長** (明確な答弁なし)

**問** 一本釣りするような話ではない。議会軽視だ。そしてこれではますます待機児問題が深刻になりかねない。今すぐ中止を。

**コンビニ交付は直ちに中止を**

**問** 2月の交付件数を問う。

**答 町長** 4件。今後ふえると思う。

**問** 1万2千人の町民の方のうち、交付に必要なマイナンバーカードの取得者数は1034人だ。

企業でも公共でも費用対効果の

検証が必要。事業が大半の町民の公益につながるのか。費用対効果の検証を行ったか。

**答 町長** 国は平成31年度まで導入経費及び運用経費の2分の1を特別交付税で措置することを約束した。

**問** 平成29年度は730万円、30年度は約650万円の経費。年間コストは約450万円だ。単純計算で2月は1人原価10万円の証明書となる。

町長は所信表明で「簡素で効率的な行政経営を目指し、限られた資源の中で町民ニーズに即した各種施策を的確に進める」「不要不急な事業の見直しや、経費の削減に努める」と語った。これこそまさに不要不急の事業ではないか。

**町北部の住環境の維持・向上を**

**問** 町長は北部地域の企業進出に伴う住環境の変化に、どんな課題を認識しているか。

**答 町長** 流通施設の進出だ。周辺住民の環境維持や特に通学路の安全確保は大変重要な問題となる。

現在住んでいる方への環境整備は認識している。政策を進める。



古田 敬司 議員

**問**

事業の一元管理を図り、業務の効率化をすべき

**答**

高齢者つどい事業を浸透させ、その中で検証する

**問** 早島町高齢者等つどい事業支援金交付要綱で週1回以上開催する団体に対して年額3万円、一方早島町社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロン活動奨励金交付要綱は月1回以上開催する団体に対して2万円を支給する内容になっている。

それぞれの要綱の目的、差異は何か。同じであれば事務的業務を一本化し業務の一元管理を図り、効率化をするべきではないか。



高齢者つどい事業

**答** 町長 ふれあいサロン活動と高齢者つどい事業について介護予防という同様の目的を持っていく。また両方とも地域の情報交換の場として、高齢者の閉じこもり防止や介護予防など住民参加による支え合い活動を行っている。

社会福祉協議会のサロン活動は平成18年に立上げ、つまり場の高齢者つどい事業は平成29年10月から始まった事業である。

予算は社会福祉協議会は共同募金の独自財源を活用し、町のたまり場事業は、介護保険の総合事業の中で補助金を活用し運用している。

今後もサロン活動とたまり場事業は並行して実施していきたい。

**問** 以前、重複制度解消に向けて当時の首長、担当課長が屋上屋を架すとの例えを述べていたが、今回の件も同じような取り組み事業内容であり、一定期間様子を見てその結果を踏まえて、一本化、一元管理に向けた検討も必要ではないか。

いか。  
**答** 町長 サロン活動を各地区に浸透していただき、その中で今のやり方がいいのかどうか検証していく。

**早島イ草ラケット卓球大会を町主催行事として取り組むのか**

**問** 今年1月26日に早島中学校2年生が企画し、町おこし、地域活性化に向けて開催した早島イ草ラケット卓球大会に152人が参加し、笑顔あふれるイベントとして大変盛り上がった。

町長も所信でこの大会を県内外の方々や留学生にも参加を募町民



早島イ草ラケット卓球大会の様子

同士の交流を促進するとともに本町の発信につなげたいと述べている。

また、つくば商工会はこの花ごぎピンポン用具を商品化し、今年の4月から販売を予定している。

今回のイベントを切り口に早島町の魅力を全国に発信する絶好の好機と考える。今後、町主催行事として取り組むのか。

**答** 町長 今回の大会を出発点としてこれを県大会に育てていき、早島町の魅力を県内外に発信するとともに、商工観光の活性化を図り、早島を人との交流があふれる元気な町にしていきたい。

**答** 教育長 町として早島イ草ラケット卓球大会をホームページやチラシ等で県内外に広報し、取り組んでいきたい。

大会運営については卓球のルール等も含め、町内卓球クラブの方々にも相談し、大会の情報発信についてはつくば商工会や観光協会も含めた関係機関と連携を図りながら進めていきたい。

また、当日の会場では早島花ごぎピンポン用具の販売や観光情報コーナーなども設置し、官民一体となった早島町の魅力発信できる場になればと考えている。



松森京子議員

**問** 不育症治療の助成を問う

**答** 実施に向けて検討する

**問** 妊婦の16人に1人が不育症、検査や治療をすれば85%は出産できるとも言われている。

しかし高額医療のため治療に踏み込められず、調査の結果でも離婚をさせられるなど、夫婦関係にも深刻な影響を及ぼしている。

以前にも質問に挙げたが、心理的、経済的に負担が多く、これらの問題はいち早く改善する必要があると考える。

不育症についてどのように認識されているのか、また不育症治療の助成について当局の考えを問う。

**答 町長** 一般的には、繰り返し流産や死産、新生児死亡があれば不育症と診断され、精神的、身体的、社会的にも大きな負担があり、そのサポートは重要である。

本町では平成29年4月から子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行っている。

不育症は専門性や個性が必要

な相談であるため、子育て世代包括支援センターや岡山県不妊専門相談センターのPRに努める。

子供を望む夫婦の経済的負担を考えると大変なものがある。

助成については実施に向けて検討する。

**人工内耳の支援を求む**

**問** 人工内耳は現在、世界で最も普及している人工臓器で、聴覚障害があり、補聴器での装用効果が不十分な方に対する唯一の聴覚獲得法である。

しかし耳掛け式のスピーチプロセッサー本体に内蔵されたマイクロホンが破損した時、買い替えは、1台100万円と多額の費用と、予備が無ければ修理に要する日数は無音の生活となり、生活に支障が出る。

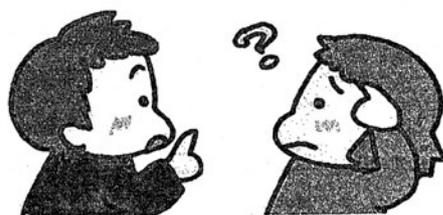
今後保険適用にならない体外機器買替えや修理に対しての助成についての考えを問う。

**答 町長** 大変な費用がかかる

ことは存じている。本町は人工内耳用の電池のみ補助を行っている。

今後県下の動

向を見ながら検討していく。



**防災教育の強化を求む**

**問** 今年度の子ども議会で、岡山は自然災害が少ないため、まあ大丈夫という気持ちが多く、いざというときの準備がおろそかになっていることを自覚した。との答弁をいただいた。

頭の中で理解しても、実際地域の防災訓練に参加されている児童は、小中学生合わせて半数以下であり防災教育の強化が必要と考える。

学校の行事など工夫して、地域の防災訓練などにも参加する意識を持つ教育が必要と考える。

また子供の視点で防災ノートをつくることで危機管理意識が深くなるのでは、と考えるが所見を問う。

**答 教育長** 安全教育の一環として防災教育を行っている。

必要な知識や能力などを児童・生徒に身につけさせるためには、発達段階に応じた系統的な指導が必要である。

学校の教育活動全体を通じた防災教育を展開していくことは不可欠であり、今後も進めていく。

防災ノートは、早島町防災マニユアルを学校の授業にも活用し、来年度の地域防災訓練等には、学校と連携をして取り組む。

**問** 実際に地震を体験された方から生活面、家族の絆、命の大切さなど、生の声を子供たちに聞かせることは、教育上必要ではないか。

**答 教育長** 直接体験された方のお話を聞くことは、大変重要なことだと考えている。





佐藤 智広 議員

**問** 町内公共交通機関の今後の運用・運行方針は  
**答** コミュニティバスも含め早島町の次期公共交通を検討する

**マンホールカードで観光活性化**

**問** マンホールカードの詳細について問う。デザイン、枚数、予算規模、設置場所。またこれによる効果は。

**答 町長** まず、下水道広報プラットホームに応募。当選したら既存デザインに着色したマンホールを20枚製作し、歩道や自動車の通らない場所のものと交換する。カードは1万枚作成。これを無料で配布する。

**答 上下水道課長** カード作成に25万円、マンホール製作に3000万円、蓋の取り換え工事に150万円を計上している。



早島町の次期公共交通はどう変わるのか

マンホールカードはご当地に直接足を運ばなければ入手できないなど、他の自治体の配布実態からも、観光活性化に役立つと考える。

**次期公共交通の検討を**

**問** 目的に適した手段で自在に移動できるよう公共交通機関のベクトミックスを考える、と述べていたが、運行から8年たち経年劣化が進むコミュニティバスも含め、乗り合いタクシー（地域主体とした乗り合いタクシーの運営について、他の自治会への水平展開はできないのか）や中庄駅までの公共交通についての今後の運用・運行方針を問う。

**答 町長** 持続可能な移動手段の確保は、福祉や地域づくりなど複眼的な視点で検討すべき課題だと思っている。

東西コミュニティバスは老朽化が激しく、故障頻度も増している。耐用年数を鑑みると少なくとも31年度末には更新時期となる。

る。一方で、本当に路線バスがベストなのかを考える必要もある。30年度に住民の移動ニーズを把握するため、アンケートを実施し、次期公共交通の検討を行う。

乗り合いタクシーは実施主体となる自治会の協力なしには成立しない事業だ。今後、自治会・行政連絡会や広報誌などで周知していく。

中庄までの乗り合いタクシーは、未確定な事項も多く、検討協議が必要だと考える。30年度中に試行運行に向けて取り組む。

**問** 総社市の完全予約型で乗り合い方式の公共交通「雪舟くん」の早島町版は検討できないのか。

**答 町長** 総社市の公共交通システムも勉強させてもらっているが、どういう方法が早島町にとって良いのか、様々な方向から検討する。

**職員の超過勤務について**

**問** 根本的に仕事の内容を見直しして、生産性を高める必要がある、そのためには、どうすべきか総務課と検討中である、と述べているがその成果、若しくは何らかの対応策はなされたのか。

**答 町長** 課長を通じ、全職員に文書で働き方改革について、お願



働き方改革は、大きな課題。

いした。

◆会議時間の短縮、終了時間の設定、資料の簡素化。

◆既存事務の見直し、事務事業の統廃合による業務改善。

◆担当事務に対する意識改革として、その分野の専門家となるよう研修への参加を促す。

◆スケジュール管理システムに業務を登録し、仕事と時間の見える化を図り、時間内の事務執行を。

◆整理整頓を行うことで、無駄な時間をなくし、20時退庁の推進。

**要望** 遅々として改善されないのは、現場が『もつとつにもならぬ』と訴えていると考えられないのだろうか。

三役が『残業の実態を把握し、ワークライフバランスのとれた職場環境整備』これに腰を据えて真剣に取り組む必要がある。



小池 宏治 議員

**問** 厳しい財政硬直化の中で、なぜ報酬を元に戻されたのか

**答** 決まった報酬はいただきながらその職責を果たすのも1つの考え方

**問** 公約で行財政改革の断行とあり総合計画では、経営収支比率の減少とある。現状は94%と財政の硬直化がますます進む厳しい財政運営が続いている。前町長が厳しい財政状況を認識され減額を決めて、先頭に立って町政に取り組む姿勢を示されたが、就任早々報酬を元に戻されたが行革断行の思いは。

**町長** 決まった報酬はいただきながら、その職責を果たすのも1つの考え方。

**問** 先般、国家公務員の退職金が引き下げられた。岡山県も知事を始め役職6人の給与カットが続けられていて、職員の退職手当も国家公務員に準じて3.4%減額が決められている。本町ではどうお考えか。

**町長** 町が単独ではなく総合事務組合で決めるので決定していない。

**商業・観光の活性化を問う**

**問** 商業・観光の活性化を地域資源の保全活用というこの2つについて、現在の進捗状況はどうか。

**町長** 小さいながら多様な表情を持つ早島の今と昔を体験できる回遊型の町を形成にそれぞれ取り組む必要がある。

**問** 今は地方創生への総合戦略・観光戦略を含めた、地域の活性化へのチャンスだと思うが、所信表明の中に地方創生関係に対する企画等の内容が少なく感じるが、以前聞いたところ、今のところ本町にはそれらの計画はないとのこと。町長はこのことをどう思うのか。

**町長** 地方創生については、地方創生の中で交付金をいただく事業の展開まで至ってなく、現状はそういう状況だ。

**問** 地域資源の保全活用に地方創生交付金を積極的に国にアピールし、地域の活性化、にぎわいを

つくる必要があるのではないかと。国も地方創生交付金への申請支援で職員を派遣してくださる。巡回制度や文化財の活用についても、文化財の保護と活用の両立に変換への改正や市町村に権限を移すところがある。国は地方創生のお金を有効に活用し、地域経済が回るようにと考えているようだが町長のお考えは。

**町長** 私も地域のお金は地域で回したい。地元はそれなりの歴史があつて伝統もある。ですから町内の方々が町内で消費をしていただくという意識も変えていく必要がある。

**道の駅について**

**問** 公約でお示しいただいているが、いまだ進捗状況が見えない。

道の駅は現在全国で約1100ヶ所までまだふえているようだ。道の駅は国の重要課題の1つとして、地方創生の拠点として、物産品など地域ブランドの発信及び観光客の呼び込み効果が期待されている。道の駅の魅力の1つは情報が集う玄関である。そして魅力ある拠点づくり、さらに災害を想定しても活用できる。観光の目的にもなる。本町は特に人・物・情報の

ポテンシャルがものすごくあるのをなぜ活かさないのか。もっと回り周辺を巻き込んで議論してはどうか。

**町長** 道の駅なのか、何らかの交流施設は必要ではないか。

**瀬戸大橋開通30周年記念事業について**

**問** 町長は岡山県と香川県との共同でされるから、町独自は必要がないとこたえられたが、このチャンスを活かしてもう少しスケールを大きく考えていただけはないか。

**町長** 皆が決めたことの中で役割分担していくので早島も一緒にやっていくということ。



執行部と議会は2人3脚

# 新入職員に 聞きました!

- ①お住まいはどこですか?
- ②どんなお仕事をしていますか?
- ③早島町のここが好き!というところを教えてください。
- ④町民の皆さんへ一言!



建設農林課技師  
**西山 徳正**  
にしま のりまさ

- ①岡山市出身で、現在も市内に住んでいます。
- ②建設農林課(兼 上下水道課)に所属しております。道路、水路等の計画・設計業務から工事の監督業務まで一連の建設業務に携わっています。
- ③桜や森林が満喫できるふれあいの森公園が好きです。
- ④分からないことばかりですが、安心して暮らせるまちづくりに向けて頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



健康福祉課技師  
**石井 美帆**  
いしい みほ

- ①倉敷市出身で、現在も倉敷市より通勤しています。
- ②健康福祉課で保健師をしています。担当は母子保健です。
- ③沿線ののどかな田園風景が好きです。周辺で野鳥の姿が見られるところも好きで、先日はカワセミを見つけ、その美しさに感動しました。
- ④わからないことだらけではありますが、少しでも早く仕事を覚えて子どもたちをはじめ、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりに貢献したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

- ①鳥取市出身です。現在は倉敷市に住んでいます。
- ②生涯学習課です。住民の方に様々な学びをしていただけるよう、施設の管理や活動のサポートをしていきます。
- ③緑豊かな田園風景が好きです。風が心地よいです。
- ④仕事をいち早く覚え住みやすい町づくりに貢献するとともに、早島で生まれ育ったと思われるほど早島のことを勉強していきたいです。よろしくお願いいたします。



生涯学習課主事  
**前川 拓哉**  
まえかわ たくや



まちづくり企画課主任  
**松下 大輔**  
まつした だいすけ

- ①鳥取県境港市出身で、現在は倉敷市に住んでいます。
- ②まちづくり企画課で定住促進や公共交通関係の仕事をしています。
- ③子どもがたくさん遊べて、自然が満喫できるふれあいの森公園が好きです。
- ④まだまだわからないことが多いですが、早島町がより住みよく、希望に溢れたまちになるよう日々頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



建設農林課主任  
**高橋 健二**  
たかはし けんじ

- ①倉敷市出身で現在も倉敷に住んでいます。
- ②建設農林課に所属しており、主に建築を担当しております。業務は早島町の景観、空家対策、施設維持修繕工事管理です。
- ③早島町全域が見渡せることから、みはらしの丘からの眺望が好きです。
- ④安心してみなさまが暮らせるよう、施設修繕管理及び景観、まちづくりのため日々勉強し頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

- ①津山市出身で、この春から早島町に住んでいます。
- ②まちづくり企画課で定住促進や地域振興などに関する仕事をしています。
- ③休日に子どもたちの元気に遊ぶ声が、いろんな場所で聞こえてくるところです。
- ④町民のみなさんと共により良いまちづくりができればと思っています。よろしくお願いします。



まちづくり企画課主事  
**山林 英果**  
やまばやし あやか

- ①早島町出身で、現在も町内に住んでいます。
- ②建設農林課に所属しています。道路や橋梁等の新設及び改良に関することや公園や緑地の維持管理に関することなどを担当しています。
- ③早島公園の満開の桜が好きです。
- ④まだまだ分からないことが多く、覚えることもたくさんありますが、早く仕事に慣れて自分が育った早島町をよりよい町にしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



建設農林課技師  
**田淵 友貴**  
たぶち ゆうき

## ◆編集後記◆

日々暖かくなり、寒さに耐えた桜も美しく咲き誇り、あつという間に散りました。潔い姿が日本人に愛されている所以かも知れません。町では、新一年生が真新しい大きめの制服に身を包み、希望に満ちて元気に登校する姿が頼もしく見えます。

3月25日の議会報告会には多くの町民の方にご参加いただき、「あなたが描く10年先の早島」をテーマに活発な議論をしていただきました。皆様から寄せられたご意見・ご要望を町政に反映してまいります。議員一同、これからも開かれた議会を目指して、町民の皆様と共に住んでいてよかったですと思えるまちづくりに邁進してまいります。

議会広報特別委員会